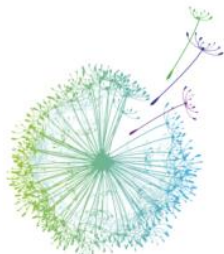


# 「持続可能な観光国際年 -Sustainable Tourismを目指して-」

International Year of Sustainable Tourism for Development

- Aiming Toward Sustainable Tourism -

事前申込不要・参加費無料



持続可能な観光  
国際年 2017

2017年の国連のテーマは「持続可能な観光国際年」です。

日本の2016年のインバウンド数は2,400万人となり、2020年には4,000万人の訪日客を目指しています。世界の観光客数は2016年は12億人、2020年には18億人に上ると予測されており、人々の移動は今後もさらに活発になることが予測されています。そこで、企業及び観光客、観光に携わる全ての人々が、観光における環境や社会への影響について考慮し、責任ある持続可能な観光のために行動を起こしていくことが必要です。

この特別講演会は国際年の取組みの一環として開催するもので、持続可能な観光国際年特別大使のマイケル・フレンゼル氏より国際年の意義及び持続可能な観光と健全な企業の発展について、グレアム・ミラー教授からは、グローバルな視点から見た日本の取組への課題をお話いただき、持続可能な観光の意義及び重要性についての理解を深め、具体的な行動について考えます。

2017年

日時: 9月22日(金)

14:00-16:00

(開場: 13:30~)

会場: 東洋大学白山キャンパス  
井上円了ホール



アクセス: 都営地下鉄東西線「白山駅」または  
東京メトロ南北線「本駒込駅」から徒歩5分

主催者挨拶: 国連世界観光機関駐日事務所 代表 本保 芳明  
東洋大学

来賓挨拶: 国土交通省観光庁 次長 水嶋 智氏

持続可能な観光国際年の紹介:

UNWTO (国連世界観光機関) アジア太平洋部部長  
ス・ジン

## ゲストスピーカー

### 「持続可能な観光国際年と企業の健全な発展について」

持続可能な観光国際年特別大使

**Dr. Michael Frenzel** (マイケル・フレンゼル氏)

ドイツ観光産業連邦協会会長。業界世界最大手TUI AGの元会長。世界の観光関連企業で構成されているWTTC(世界旅行ツーリズム協議会)の前会長を務め、企業における環境・社会への影響を考慮した持続可能な観光の促進に努める。



### 「持続可能な観光及び世界の事例と国際的なトレンドについて」

和歌山大学 特別主幹教授 国際観光学術センター 副センター長

WTTC Tourism for Tomorrow Award審査委員長 英国サリー大学 文学・人文学部学部長

**Prof. Graham Miller** (グレアム・ミラー氏)

持続可能な観光を専門とする。持続可能な目的地の評価方法、アクセシブル(バリアフリー)ツーリズムの研究、ヨーロッパにおけるツーリズムのバリアフリー化など数多くの研究プロジェクトに従事している。



\* どなたでもご参加いただけます。事前申し込みは不要ですのでそのまま会場にお越しください。

\* ゲストスピーカーおよびスジン部長からの発表は英語で行われます。通訳はありません。

主催: 国連世界観光機関駐日事務所

共催: 東洋大学 国際観光学部

後援(予定): 国土交通省観光庁・日本政府観光局(JNTO)

和歌山大学・首都大学東京

公益社団法人日本観光振興協会(JTTA)

一般社団法人日本旅行業協会(JATA)

ツーリズムEXPOジャパン推進室



## お問合せ先

国連世界観光機関駐日事務所  
奈良県奈良市三条本町8番1号シルキア奈良2階  
E-mail: info@unwto-ap.org  
電話: 0742-30-3880